

市街地中小河川の落とし穴

ゲリラ豪雨の教訓

環境ジャーナリスト ● 杉本裕明

今年も大雨や台風で各地で大きな被害が出た。特に問題になったのが、局所的に襲うゲリラ豪雨。愛知県岡崎市では逃げ遅れたお年寄りら2人が亡くなり、神戸市では親水公園で遊んでいた子どもら5人が死亡した。犠牲者が出た川はいずれも市街地を流れる中小河川で、川と親しむためにお祭りをしたり、美化活動をしたりしてきた。どこに落とし穴があったのか、二つの川を歩いた。

河川内に居住

8月末の豪雨で2人の死者を出した岡崎市。市役所の裏手から北西に30分。住宅地を流れる伊賀川の下流から上流に向かって歩く。

西魚町に入ると突然川幅が狭くなり、コンクリート護岸の上に住宅が並ぶ。背後には、建物の2階部分の高さで道路が通る。西魚町に住む加藤久美子さんは、「夜中に豪雨になり、水かさが増して不安だった。ここは被害が少なかったが、少し上流

は大変だった」と話す。

伊賀川は愛知県が管理する川だ。かつては伊賀八幡宮（伊賀町）付近から早川に合流していた。洪水で水田の被害が絶えず、大正時代に県が人工河川を造り、乙川に合流させた。

河川内の居住は、大正時代に河川改修を担った人が住み着いたのが最初といわれ、戦後、居住者が増え88戸に。耕地整理した土地が川沿いに続き、市は住民と借地契約し、賃料を受け取ってきた。だが、1975年に河川区域に指定、翌年、県と市



は、5年ごとに更新してきた住民との契約を更新せず、補償金を払って転居を求めることで合意した。が、市の動きは緩慢で56戸が残っていた。床が流され亡くなった杉本富美子さん（80歳）もそのうちの軒だった。

なぜ、こんな危ないところに居住が許されたのか。市の財産管理課は「県の河川整備が進まず、こちらの交渉も鈍くなった」。県河川管理課は「住宅を撤去しない限り、河川の拡幅などの対策ができない」と、両者はその責任を押しつけあっている。

人命が失われて初めて改修が動く

しかし、人命が失われて初めて河



伊賀川の堤防の上に住宅が並ぶ。こんな危険な状況が何十年も続いていた（愛知県岡崎市で）。



伊賀川の洪水で崩壊した住宅（愛知県岡崎市で）。

川改修は動くという歴然とした現実がある。市は損傷を受けた5戸を解体、撤去。残りの51戸について県は、

県自ら交渉することを決め、9月に開いた説明会で「補償はします。今年中に移転していただきたい」と訴えた。説明会に出た加藤久子さんは「嫁いで40年。転居した人もいるが、行き先がないのでそのままの家が多かった。危ないからすぐに引越せといわれても」と困惑を隠せない。

こうした家は西魚町から上流にある城北町までの約600mに点在する。さらに上流の広幡町では逃げ遅れた黒柳鈴江さん（76歳）が死亡。水が堤防を乗り越え、堤防より2m低い住宅地を襲ったのだ。

この地区は、東海豪雨の時にも多数の床上浸水があった。あたご橋の橋脚に上流から流れたごみがたまり、流れが悪くなったのが原因だった。そこで市は、橋脚のない橋に替え、排水ポンプを設置した。

だが、時間雨量で140ミリを超える豪雨に効果はなかった。

市は当時、市内全域に避難命令を出し、広報車で回った。が、市が住民に避難命令を出したのは夜中の29日午前2時10分。気象台が大雨洪水警報を出して2時間以上もたってか

らだった。「戸を閉めて自宅にこもっていたから聞こえなかった」と言う住民も多い。

広幡町総代の柴田鍾三さんは、「市は避難するよう電話をかけたというが、突然の雷と豪雨で気づけなかった。上流で宅地開発が進み、雨をためてくれる山や田んぼがなくなり一気に川に流れ込むようになり危険な川になった」。この地域では、広幡小学校が避難場所に指定されていた。だが、小学校は堤防より2m以上低く、川の水が越流している時に歩いて避難することは危険だ。

広幡町の鈴木久美子さんは「夜中に心配で川を見に行ったが、水があふれ、怖くて自宅にいた方がいいと思った」と語る。



伊賀川の堤防より低い地区に住宅地がある。床上浸水も多かった（愛知県岡崎市で）。

28日は日中に豊橋地域が豪雨となり、岡崎市も午前11時33分に災害対策本部を設置した。だが、雨脚は弱くなり、午後9時に対策本部を解除、職員らは帰宅した。ところが、深夜になって再び激しく降り出し、29日午前零時6分には対策本部を再設置。職員を再び呼び集めた。

川の掘削と拡張

岡崎市には、県の管理する川が伊賀川など20河川ある。さらに小さな川は市の管理だが、伊賀川に流れ込む小呂川もその一つ。今回も内水氾濫で床上浸水の被害が出た。

幅6mの小呂川だが、伊賀川への合流点は2mと狭い。そのため、流れ込んだ水が逆流し、あふれた。市河川課の岩瀬広三副主幹は「県による伊賀川の河川改修が終わっていないので川幅を広くできない」と悩みを打ち明ける。

市は、東海豪雨の教訓から、リ



「豪雨時は零時過ぎから市役所で情報収集に当たった」と話す岡崎市河川課副主幹の岩瀬広三さん。

スの排水ポンプを6か所、監視カメラを9か所に設置、さらに土嚢の保管所も10か所以上設置した。職員が河川を監視し、ポンプの操作などを業者に指示していた。が、「予想を超える雨でほとんど役に立たなかった」（吉口雅之・河川課長）という。

昨年、市は「避難勧告伝達マニュアル」を作り、氾濫を警戒する川を決めて豪雨時の対応方法を定めたが、伊賀川は県の管理として除外されるなど、お互いが緊密な関係をもつて対応する形にはなっていない。

伊賀川を調べた大同工業大学の鷺見哲也准教授によると、伊賀川の川幅は、伊賀町地点で11mあるのが、堤防の上に住宅が並ぶ西魚町になると6・5mしかない。さらに川底が突然、低くなっていた。洪水の痕跡を調べると、上流の方が2mも高くなっていた。鷺見准教授は「急に川幅が狭く川底も低くなっていたことで、ダムのような効果があり、上流の水位を押し上げた。もし、住宅を撤去し、川幅を広げ、川底を掘削していたら、これほどの被害にならなかった可能性もある」と語る。

今回の水害で、県は、住宅の撤去を完了後、早急に川の掘削と拡張に取り組むという。



「早急に伊賀川の河川整備を進めたい」と語る愛知県河川課主幹の多田哲也さん。

県が管理する河川の予算は年間約340億円。多くの被害を出した2000年の東海豪雨の後、被害の大きかった尾張地域では、新川と天白川が激甚災害特別事業に指定、国の手厚い補助金が投入された。新川では、堤防が強化され、巨大な遊水池を建設。東海豪雨時に、内水氾濫を防ぐために、ポンプでくみ上げた雨水を川に流したことが、堤防の決壊の要因の一つになったとの反省から、一定の雨量を超えた場合にはポンプを止める対策も講じた。こうした対策が功を奏し、今回、新川は大雨に耐えた。

県河川課の多田哲也主幹はいう。「お金をかければ被害を減らせるが、それには限界がある。県は5年に1回（時間雨量約50ミリ）に対応できるように整備を進めているが、半分近くが未達成。このままだと1

100%の整備に100年

親水公園に目が行き、洪水対策忘れる

00%になるには1000年かかる」

7月28日、豪雨に襲われた神戸市灘区。都賀川では午後2時30分、1時間当たり24ミリの雨が、同40分には140ミリに。わずか10分で130cm水位が上がり、遊んでいた子どもら5人が流され、亡くなった。

8月12日、灘区役所で緊急の灘区安全会議が開かれ、防災福祉コミュニティ、消防団、自治会などの代表者ら約80人が集まった。県の土木事務所長が、都賀川など12河川、76か所に回転灯をつけることを説明した。気象庁が大雨注意報や警報を出すと自動受信し、住民に警告する仕



5人が流され、亡くなった都賀川。河川の両側に遊歩道が続く（神戸市灘区）。

組みだという。

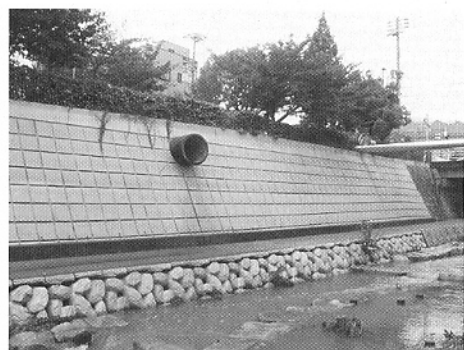
大雨警報などがあった場合、これらの人たちが都賀川流域をパトロールし、避難していない子どもたちがいないか確認することになった。区役所の富田稔副所長は「大震災の後、地域ごとに防災福祉コミュニティという組織をつくり、災害に備えてきたが、地震と火事が対象だった。今後は川の災害に目配りが必要だ」という。

川は六甲山から急斜面を下り、密集する住宅街を抜ける。途中18本の下水管から雨水も流れ込む。都賀川など六甲山系の川は24河川あり、宅地開発で川幅が狭まった経緯がある。1938年と67年の大水害を契機に水路を掘削し、コンクリートの三面張りにする改修が進められた。

生活排水などでどぶ川と化した都賀川を救おうと、76年に住民らが「都賀川を守る会」を結成、美化運動を展開。行政も親水公園や遊歩道を造ったりして、それに応えてきた。

毎年お祭りも開かれ、都賀川は住民が川と親しむ模範的な川として知られていた。ところが、その川は、危険な川だったのだ。

「都賀川を守る会」事務局長の木村典正さんは「古くから住んでいる



都賀川に直結した雨水管。18本が川に流れ、増水の要因の一つになった（神戸市灘区）。

住民は上流で雨が降ったら鉄砲水になり、危険なことを知っている。でも新住民は知らず、川で学童保育をしている人もいる。川の怖さも知らせる必要性を痛感した」と話す。

国土交通省も各地でゲリラ豪雨による被害が頻発したことに、きめ細かい予報と予測ができない検討を始めた。兵庫県河川整備課の糟谷昌俊副課長は「河川には監視カメラもあるが、行政がそれを見て動いていたのでは間に合わない。県のホームページなどで流す映像を住民が見て、どう行動すれば安全か役立ててもらいたい。行政もどのような情報を住民に出せるか、住民にどう使いこなしてもらうか、工夫を重ねていきたい」と話す。